

保護者の皆様、いつもご理解とご協力ありがとうございます。

今年度の施設自己評価は、以下3つの質問から私たちの保育を振り返ってみます。

① 今年度の首里当蔵保育園の保育はどうでしたか？良かった点、改善点を教えてください。

今年度は89名の園児でスタート。保育士不足により認可定員を始めて下回る定員割れであった。受け入れた園児に対して保育の質を維持しながら保育を進めることはできた。こどもひとりひとりの思いを受けとめ、心の揺れ動きを感じながら保育を進めてきた。乳児期から年長児まで、一人ひとりの思いを大切にしながら、やりたい！たのしい！もっとやってみたい！を叶える保育環境づくりも意識してきた。5歳児では、個別最適な学びの姿が見られ、こどもの可能性を感じることもできた。しかし、保育は正解が一つではないから常に自分たちの保育を見つめ直す。保育者として、こどもを丁寧に見ること、主体的な保育とはどういうことか、遊び込める環境があるか、こどもが協同、協力して活動できる環境か。保育者一人ひとりの意識はどうか。など完成図はないので手応えを感じながら悩みながら保育を深めていきたい。

入所を希望される方々が多くいるが、それに答えることに十分できていない。保育の質を維持しながら、地域の待機児童への対応を考えて行きたい。

② 首里当蔵保育園の保育を保護者はどう感じていると思いますか？

「とうのくらは預けられて本当に良かった！」「我が子の気持ちを大事にしてくれてうれしい」「私立でいいので小学校を作ってください」など。

クラス懇談会や卒園式などで感謝のお声掛けをいただけたので、保護者の皆様との信頼関係も築くことができているのではないかと感じる。令和6年度の5歳児は定員の倍の18名の園児さんが当蔵での保育を希望してくれた。那覇市内では珍しいようだ。(ほとんどがこども園へ移行する?)しかし、延長保育の中止や一時預かり保育の制限などもあるため、困ってしまう保護者さんもいる。「保育士不足だから仕方ない」と、思いを園に伝えられない保護者さんもいると感じる。保護者の就労支援を支えるには、今の保育制度では限界を超えている。保護者と共に、「保育を必要とする子」の保育環境を改善していかないと、保護者や地域の子育て家庭がさらに困る。保育の実施義務は自治体。那覇市です。国の配置基準で保育させられている保育の現場、4.5歳児30名に対し1名の保育士で保育をさせられています。保護者様もどう思いますか？どう感じますか？

③ 首里当蔵保育園の職員はどう思っていると思いますか？今後どうしたいですか？

自分たちの保育に誇りを持っていると思う。保育者としての責任と誇り。日ごろの保育だけでなく、確実にマネジメントする力も育ってきていると感じる。保育に手ごたえも感じながら、迷いながら、励まし合いながら、相談しながら保育に携わっている。でもやはり、命を預かる責任の重さや乳幼児期に関わるプロとしての責任を感じていると思う。その責任の重さを、私も共に噛みしめながら、保育を深めていけたらと思う。

協力的で理解ある保護者さんにも恵まれていると感じていると思う。信頼関係を大事に、保育を進めていきたいと感じているのではないかな。

保育者も大事な仲間。幸せになってもらいたい。保育者自身の人生を楽しみ、頑張れることを応援出来たらと思う。

令和6年4月 園長 大城祥恵



令和5年度『保育おもろ研究会 okinawa』発足!!
保育への「思い(うむい=おもろ)」と保育の「おもしろさ」を深める会。公開保育や読書会を通して語り合いを大事に保育の実践知を深める。
市外の保育園・こども園問わず、保育を語り合います。保育を語り合える園長先生方、意外と貴重なんですよ(^)そのメンバーに選ばれてとても嬉しいです☆通称「おも研」の監修は汐見稔幸先生(白梅学園大学名誉学長)さん
生きるとは。教育とは。などなど哲学的なワード炸裂!
ちなみに、4月に読書会では書籍「弱さの思想(たそがれを抱きしめる)」を語り合います!

☆☆とうのくらはR6.8月に公開保育を予定☆☆



保育の中央研修会。リーダー保育者と共に参加。京都大学の研究で、0.1.2歳児で保育を経験したこどものその後の育ち(教育的効果)に良い影響がある!という結果が出たようです。膨大なページ数となってしまったため、査読はまだのようですが。保育者の私たちに、とても力をくれる研究結果の報告だったので、また頑張ろうと思えました。分科会では、本土では少子化や過疎化が進む地域も多くあるようです。その現状を知ることができました。次回はもっと保育を語り合える分科会を期待したい。



大学院時代の恩師に会えました☆



保護者の皆さん、地域の皆さん
いつもご理解とご協力をありがとうございます。
こどもの「今」を大事にし、やりたい気持ち、
やりたくない気持ちも受け止めながら、
次年度も頑張ります♪

☆☆令和5年度 ご協力ありがとうございました☆☆